

9月定例会

●会期 8月23日～9月8日(17日間)

28年度各会計決算を認定 提出された全議案を可決

- 今回は
- 報告 1件
 - 市長提出議案 25件
 - 議員提出議案 1件
 - 請願 1件
 - 陳情 1件



議場にリンドウを飾った9月定例会

【議案第9号】平成29年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)

前年度繰越金加え 総額203億円に

- 歳入、歳出それぞれ5億7041万円を増額し、累計203億7615万円とするもので、今回の補正の主な歳出は次のとおりです。
- 財政調整基金積立金 2億7200万円
- なかやま温泉施設改修工事費 2675万円
- 市道等軽舗装工事費 2000万円
- 大更駅前線整備工事費 2790万円

Q 田山区排水路整備用地測量調査業務委託料1060万円について、当初予算で400万円計上しているが、工事状況と内容を伺う。

A 支障木が複雑であったため用地測量と支障物件を見直した。工期は、9月8日から12月20日までの予定で、矢神川に排水する場所から下流側へ50メートル以内である。

討論(私学教育を充実・発展させるための請願)

【反対討論】 高橋守議員(八起会)

私学教育を充実・発展させることは、それ単体では、非常に有意義で、現在、私立高校に通学している子どもも持っている家庭にとつては、非常に有効な方法だと考えるし、今後、私立高校に入学しようとする子どもたちにとつても希望になるものと理解する。しかしながら、私立高校を市内に有しない八幡平市では、平館高校への入学率を低下させることに直接つながりかねないと心配している。まず、平館高校の生徒を増やす方法を検討すべきと考える。

Q 田山区排水路整備用地測量調査業務委託料1060万円について、当初予算で400万円計上しているが、工事状況と内容を伺う。

A 支障木が複雑であったため用地測量と支障物件を見直した。工期は、9月8日から12月20日までの予定で、矢神川に排水する場所から下流側へ50メートル以内である。

【賛成討論】 米田定男議員(日本共産党)

地元の平館高校が発展する、生徒が増える、内容が充実することについては、全ての議員や市民が望んでいることである。しかし、そのために、私学の教育、私学に通う生徒が困難な状況を持続すべきという発想は、逆転した発想である。本来、私学教育の充実と平館高校の充実、同時に両立すべきものであるし、両立可能であると判断するので請願に賛成する。

平成29年第3回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名(会派)																					議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
議案第16号	工藤隆一(八起会)	田村善男(八起会)	畠山康(八起会)	井上辰男(八起会)	立花安文(八起会)	大森力男(市民クラブ)	工藤剛(市民クラブ)	工藤直道(市民クラブ)	遠藤公雄(自由クラブ)	小野寺昭一(八起会)	田村孝(新政クラブ)	山本榮(日本共産党)	高橋守(八起会)	伊藤一彦(緑松会)	高橋悦郎(日本共産党)	関善次郎(自由クラブ)	大和田順一(新政クラブ)	高橋光幸(緑松会)	米田定男(日本共産党)	北口和男(無党派)	渡辺義光(市民クラブ)	原案認定
請願第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第2号	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
発議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※賛成=○、反対=● 古川津好議長は採決に加わりません

老人憩の家を 高齢者等温泉館に

65歳以上および障がい者の温泉の利用などによる健康の増進や、交流の促進を図るため、名称変更を含め、八幡平市高齢者等温泉館として位置付けするものです。

Q 今までの「西根老人憩の家」という名称を「西根高齢者憩の家」とすることだが、老人も高齢者も同じであるし、温泉館条例なので例えば「七時雨温泉館」でも良かったのではないかと。これまでの設置の経緯や歴史を考慮すると同時に、新しい施設ができたことと勘違いされないためにも「憩の家」の部分を残した。

A これまでの設置の経緯や歴史を考慮すると同時に、新しい施設ができたことと勘違いされないためにも「憩の家」の部分を残した。

A 代表と、名称についての話をした。



新名称の七時雨憩の湯

高齢者等温泉館 条例を修正可決

「西根高齢者憩の家」を「七時雨憩の湯」と修正し、可決しました。